

AED市民使用解禁から20年なのに電気ショックは4% なぜ低調？

寺町大花 | 暮らし・学び・医療 | 速報 | 医療・健康

毎日新聞 | 2024/5/26 16:00 (最終更新 5/26 16:00) | 有料記事 | 1628文字

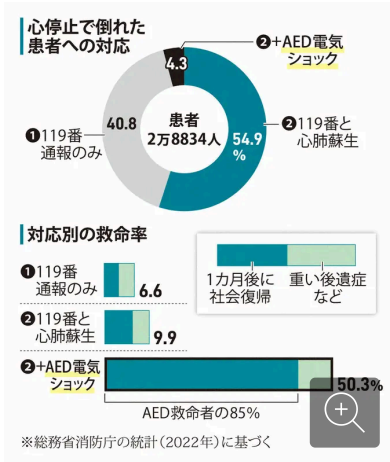


ビルの一角に設置されているAED＝東京都千代田区
で2024年5月22日午前10時13分、寺町大花撮影

心停止の人に電気ショックを与えて救命する、自動体外式除細動器（AED）を一般の人が使えるようになってから今年で20年を迎える。公共施設などに約67万台が設置され、これまでに8000人以上の命が救われてきたが、実は心停止により人前で倒れた人のうち、電気ショックが行われるのは5%に満たないという。より多くの命を救うにはどうすればよいのか。

日本AED財団（東京都）によると、心停止のほとんどは心室細動という、心臓がけいれんする不整脈で起こる。AEDは心臓に電気ショックを与えてけいれんを止める医療機器だ。

かつては使用に医師の指示が必要だったが、米国などで市民による救命が増え、2002年に高円宮さまが運動中に心室細動で急逝したことなどから一般人の使用について議論が進んだ。厚生労働省は04年7月、一般人のAED使用を認める通知を各自治体に出した。



心停止で倒れた患者への対応と、対応別の救命率

心停止でのAEDの使用は、生存率やその後の回復に大きく影響する。総務省消防庁の22年の統計によると、心停止に陥り人前で倒れた人のうち、119番通報と心肺蘇生術に加えてAEDによる電気ショックが行われた人の救命率は50・3%。そのうち85%が1カ月後に社会復帰できた。一方、通報のみの生存率は6・6%、通報と心肺蘇生術のみの生存率は9・9%で、重い後遺症などがある割合も高くなっていた。

AEDの操作に不安を感じる人もいるかもしれないが、電源が入れば、音声で必要な全ての手順が指示される。電極パッドを患者の体に貼ると、AEDは心電図から電気ショックの必要性を判断し、必要なら電気ショックを実施する。同財団の三田村秀雄理事長は「安全性は高く、ス

スマートフォンの操作よりも易しい。医療のプロかどうかは関係ない」と強調する。

ところが、実際に電気ショックが行われるケースはわずかにとどまっている。同じ統計では、22年に心疾患を原因とする心停止2万8834例のうち、電気ショックが行われたのは、全体の約4・3%に当たる1229例しかなかった。AED自体がどれくらい装着されたかのデータはないものの、なぜこれほどまでに電気ショックが行われていないのか。

要因として考えられるのが、患者の元へ速やかにAEDが届かないことだ。心停止の救命率は、処置をしなれば1分ごとに7～10%下がる。発症から10分程度たつと、心臓からの電気信号は弱まり、AEDは心室細動を感知できずに「電気ショックは不要」と判断してしまう。三田村さん



心停止に陥った人の救命について「AEDをいかに早く持って来られるかが勝負だ」と話す、日本AED財団の三田村秀雄理事長＝東京都千代田区で2024年5月9日午後5時9分、寺町六花撮影

は「いかに早く持って来られるかが勝負だ」と言い、設置場所を分かりやすくする工夫や、地域にとって身近な場所への設置を増やしていくことなどが必要だと指摘する。

また操作が簡単とはいえ、AEDが確実に使われるためにはやはり訓練が役に立つ。「『勇気を出そう』と言われてきたが、勇気がなくても訓練によって使えるようにするのが大切だ」と三田村さん。操作手順を確認するだけでなく、ここでも時間を意識することがポイントになる。ビルや公共施設なら、職員間で119番通報やAEDを取りに行く人などの役割を決め、人が倒れてから数分以内に電気ショックまで行えるかをストップウォッチを使って確認すれば効果的だという。

他にもAEDが届くまでの間の胸骨圧迫（心臓マッサージ）も重要だ。刺激を与え続ければ、心臓からの電気信号が持続し、AEDの電気ショ

ックにつなげられるという。



スマートフォン用アプリ「救命サポーター team ASUKA」の検索機能を使えば現在地近くのAEDを調べることができる＝スクリーンショットより

同財団はスマートフォン用アプリ「救命サポーター team ASUKA」の活用も勧めている。GPS機能を使い、現在地から最も近いAEDの設置場所を調べられるほか、カメラ機能を用いながら適切な胸骨圧迫の方法を練習することもできる。

AEDを使って救命できなかったとしても、善意の行動であるため責任を問われることはない。「救急隊員の到着を待つだけでは目の前の人を助けることはできない。現場に居合わせた人にしか救えない命がある」と三田村さんは訴える。【寺町六花】